

## はじめに

この度の東日本大震災により被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。あらためて被災地が一日も早く復興することを心よりお祈り申し上げます。

2011 年は、この東日本大震災やタイの洪水などの自然災害、また歴史的な円高や欧州経済危機などにより、大変厳しい経済状況となっております。このような状況においてこそ、さらに技術力を強化し、あらたな価値を創造することによって、この困難を乗り越えていく必要性を感じます。

10 月に米アップル創業者で会長だったスティーブ・ジョブズ氏が亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。彼は、スマートフォンやタブレット端末などの革新的な製品やサービスを次々と世に送り出してきました。これによって、昨今ノマドワーキングと呼ばれるオフィスを持たない従来と違うワークスタイルが生まれ始めてきています。私たちもワークスタイルの変革にあった新たなビジネス機器やソリューションを提案し、ビジネスチャンスにつなげていければと思います。

技術調査小委員会は、協会事業に関連する技術調査を主な業務としており、本年度も昨年同様に「当産業協会会員各社の大きなビジネス領域を占める画像技術とそれを取り巻くハードウェア・ソフトウェア技術に関する先端技術の調査・検討を行ない、広く会員各社に紹介し、技術の向上に寄与する。」ことを基本方針として活動をおこないました。その中で、特に環境とソフトウェアに注目し活動を行ないました。本報告書では、その活動を報告します。

本年度は、講演会を 3 件、現地調査を 2 件実施しました。

講演会としては、環境に配慮した「消色可能なトナーを利用した用紙リユース MFP」、印刷に絡めたソリューションとして「TQMS による機能連携品質マネジメント」、「プロダクション・プリント分野でのソリューションへの取組み」を実施しました。皆様の関心も非常に高く、大変多くの方の参加がありました。

現地調査としては、環境に配慮した新しいオフィスの提案として「品川地区モデルオフィス見学」、また広く先端技術に触れるということを目的とし、「けいはんな地区研究所」の見学会を実施しました。どれもとても有益な情報を得ることができ、参加された方々の今後に十分役立てられるのではないかと考えております。

技術動向については、昨年度と同じくインクジェットと電子写真の技術動向、ソフトウェアソリューション関連の動向をまとめました。

注目技術については、本年度に発表された各社技術の中から、7 件の技術解説を掲載いたしました。

本年度の報告書も、例年通り PDF による電子文書での配布といたしました。会員各社の皆様に広くご活用いただき、今後の会員各社の更なる発展に寄与できれば幸いです。

最後に、お忙しい中活動にご協力いただいた、会員各社、講演会講師の皆様、現地調査の関係の皆様、注目技術の執筆者の皆様、ならびに当小委員会委員、事務局の皆様には、心より感謝申し上げます。

2012年4月

技術委員会 技術調査小委員会  
委員長 西原 雅宏

禁 無 断 転 載

2011 年度「ビジネス機器関連技術調査報告書」“はじめに”部

発行 2012 年 4 月

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)  
技術委員会 技術調査小委員会

〒105-0003 東京都港区西新橋三丁目 25 番 33 号 NP 御成門ビル  
電話 03-5472-1101(代表) / FAX 03-5472-2511